



# 科学の眼

まなこ

発行: 姫路科学館 (〒671-2222 姫路市青山 1470-15 電話: 079-267-3961)  
<http://www.city.himeji.lg.jp/atom/>

## 生物シリーズ

琉球列島の地史を背景とした適応放散と分離による独自に進化した固有種

# 琉球列島の自然と世界遺産

Natural History of Ryukyu Islands and UNESCO World Heritage

姫路科学館 学芸・普及担当 相樂 充紀

昨年は「富士山」が世界遺産に登録され大きなニュースとなりました。姫路市の世界遺産といえば、いわずもがな姫路城（写真1）です。日本では1992年に「世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）」が締結されました。事務局はパリのユネスコ世界遺産センターです。

世界遺産にはそのクライテリア（評価基準）により文化遺産、自然遺産、複合遺産に区分されています。姫路城は、1993年に世界遺産（文化遺産）に登録されました。



写真1 世界遺産の姫路城

## ■日本の世界遺産（自然遺産）

世界遺産評価基準は10項目で、うち4項目が自然遺産のカテゴリです。（1）評価基準（vii）自然美（viii）地形・地質（ix）生態系（x）生物多様性のうち、1つ以上に適合する事、（2）「完全性」の条件を満たすこと、（3）顕著な普遍的価値を長期的に維持できるように、十分な「保護管理」が行われていること、全ての条件を満たす場合、世界で唯一の価値を有する重要な地域として世界遺産に認められます。

国内自然遺産は表のとおりです。環境省と林野庁が共同設置した「世界自然遺産候補地に関する検討会」で知床、小笠原諸島、琉球諸島が候補地として2003年に選定されました。このうち未登録なのが奄美・琉球（写真2）であり、国内では最後の自然遺産だろうという意見もあります。2013年、政府は「奄美・琉球」を世界遺産（自然遺産）暫定リストへ追加し、科学委員会が設置開催されています。早ければ、数年内に世界遺産登録が実現するかもしれません。

表 日本の世界遺産（自然遺産）

登録年	自然遺産
1993年	屋久島
1993年	白神山地
2005年	知床
2011年	小笠原諸島
201X年	奄美・琉球



写真2 やんばる（沖縄島北部）

## ■琉球の生きものたちの固有性

世界遺産に登録される普遍的価値を持つ琉球の自然とは一体何なのでしょう？環境省・

林野庁発表『奄美・琉球』の世界遺産暫定一覧表への記載について」をみてみます。

評価基準 (ix) 生態系	この地域にだけ残された遺存固有種が分布しており、また、島々が分離・結合を繰り返す過程で多くの進化系統に種分化が生じている。
評価基準 (x) 生物多様性	IUCN レッドリストに掲載されている多くの国際的希少種や固有種の生息・生育地であり、世界的な生物多様性保全の上で重要な地域である。

1500 万年前から始まった琉球列島は、本州から北方系の動物の移入が無かった一方、170 万年前以降急速に大陸との結合や海による分断を繰り返しました (図 1, 2)。大陸で絶滅した種が遺存し、琉球の島々の環境に適応進化した結果、独自の生態系を形成しています。

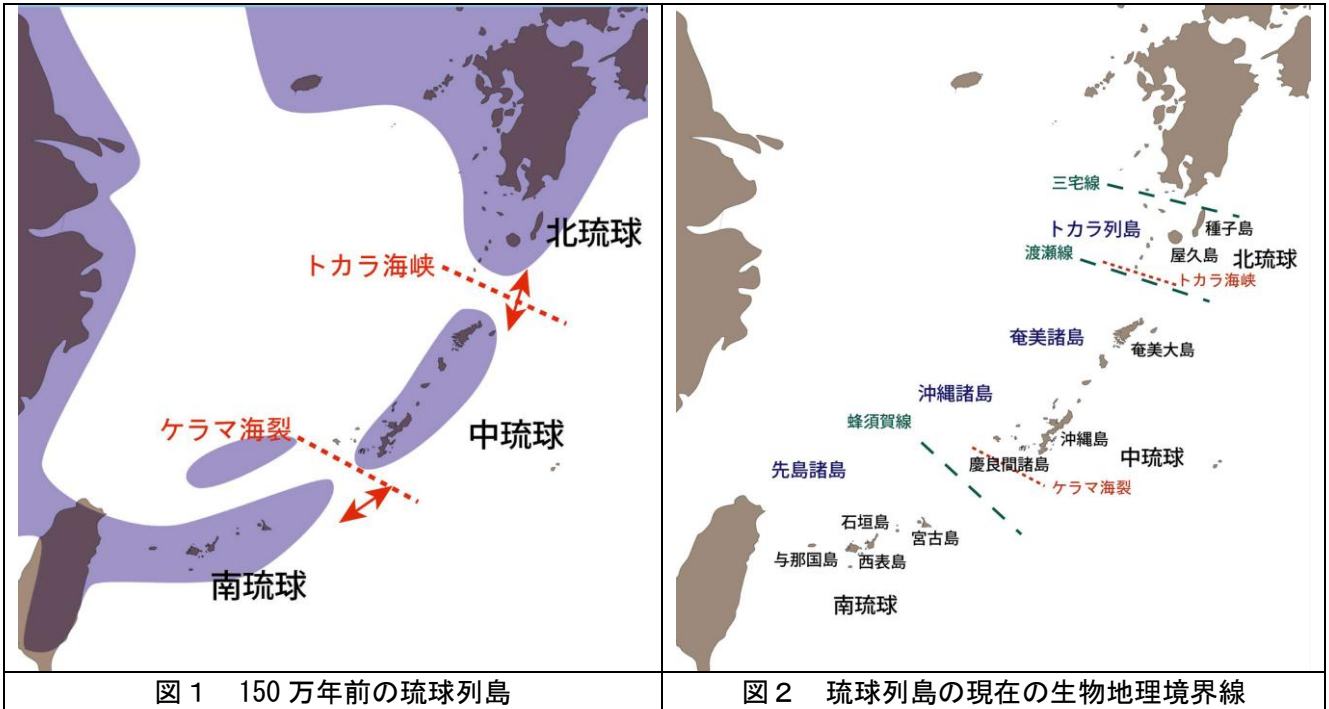


図 1 150 万年前の琉球列島

図 2 琉球列島の現在の生物地理境界線

世界中でやんばるにしか生息していないヤンバルクイナやヤンバルテナゴガネ、西表島にしか生息していないイリオモテヤマネコなどが固有種として特筆されます。

### ■生きものたちの置かれている危機と対策

野生生物ロードキル (交通事故)、ファイリマングース等外来生物の在来生態系攪乱、ペット遺棄等が深刻な危機です。外来生物駆除、安全運転周知、野生生物専用の通路など、行政、住民、観光客などが協力し、琉球固有の生態系を次世代に残せるよう取り組んでいます。



写真 4 ロードキル個体



写真 5 マングース箱ワナ



写真 6 交通事故防止標識

### ※特別展「ハイサイ！琉球の生きものたち」が3月14日(金)から開幕。

今回の特別展では、沖縄県立博物館・美術館所蔵のヤンバルクイナ、イリオモテヤマネコ、ジュゴン等の希少野生生物の標本と、姫路科学館の通常非公開の小林平一コレクション標本を通して、琉球の豊かな自然を育んだ、島々の歴史と生物の進化の関連性、直面する危機と対策を分かりやすく展示解説します。3月15日(土)に、著名な動物写真家・湊和雄氏による「琉球の生きものたち」がテーマの科学講演会を開催します (参加費無料)。